

1. 本書の構成

本書は「長洲町の植物 データベース」から必要な部分をピックアップして植物の画像と特徴を並べたものです。これは長洲町にどんな植物が生えているのかを、概念的に知っていただくために編集しました。構成は草本、木本、シダ類に分け、次に「科」「属」順にさらにアイウエオ順に並べています。画像の説明は①生育場所②科・属③主な特徴等について述べています。画像についても必要な場合は円内に花や果実の拡大写真を載せています。

本書で紹介する植物として、長洲町で確認した植物は700種に達しました。この中から比較的好く見かける植物や海沿いに多い植物、珍しい植物など600種を選び、その内訳は草本288種、木本294種、シダ類18種です。

さらに、蔓や落ち葉を使った色々なアート（落ち葉アート、リースなど）も加えました。これは観察会などで、自分の好きな葉っぱや落ち葉などが、まるで宝物を探したような感じで見つかる時もあります。それも季節によっては色まで変わって別物のような感じがします。それをそーっと保存し時間にゆとりが出来た時に取り出して並べたり、他のものと組み合わせたりしていると新たな作品が出来上がります。そのヒントになればと思い作成したものです。アートを作るのも観察会の楽しみであり、また植物に親しむことにもなります。お部屋に飾って楽しむことも出来ます。

本書の編集方針は以下の通りです。

- ①特別な場合を除き園芸品種は取り上げない事にしました。
- ②清里小校区に「桜の森」があります。桜の写真はほとんどここで撮影したものです。「桜の森」は荒尾市に属し長洲町との境界にあります。長洲町の植物としています。
- ③植物名は参考にした書籍の命名に従っています。
- ④索引は草本・木本の別なく表形式で名前順に並べています。

「桜の森」は土地の所有者である寺岡さんが桜の生長を夢見ながら色々な種類の桜を植林され、今では河津桜を始め80種800本を植えられています。寺岡さんのご好意により、長洲町自然観察保護の会では「桜の森」を拠点に観察会を実施しています。